



TITLE:

まえがき

AUTHOR(S):

高橋, 秀典

CITATION:

高橋, 秀典. まえがき. 技術室報告 2018, 19

ISSUE DATE:

2018-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/233566>

RIGHT:

まえがき

京都大学防災研究所技術室長 高橋 秀典

京都大学防災研究所技術室の2017年度の活動成果をまとめた技術室報告第19号が完成しました。

この技術室報告を読んでいただくことによって、それぞれの技術職員の2017年度における技術支援の実績や、それぞれの技術職員が持つスキルなどの一端を、知っていただけると幸いです。

防災研技術室の場合、技術支援を希望する教員の皆様から技術支援依頼票を事前にご提出いただくことになっています。2017年度の技術支援依頼の件数は合計52件で、内訳は短期支援依頼が35件、長期支援依頼が17件でした。

技術室に対する技術支援依頼の件数は、年度によってばらつきがあります。2013年度から2017年度までの5年間で見てみると、短期支援依頼が最多だった2014年度は44件、最少だった2013年度は30件です。同じく長期支援依頼が最多だった2014年度は22件、最少だった2015年度と2016年度は12件です。この5年間の平均で、短期支援依頼が36.4件、長期支援依頼が15.8件となります。2017年度の技術支援依頼の件数は、ほぼ平年並みだったと言えるでしょう。

人数的には三十数名いた時代に及ぶべくもありませんが、われわれ技術職員一人ひとりが技術と技能を磨き、防災研究所内の技術支援のニーズに可能な限り応えていきたいと思えます。

防災研技術室は、これからも教員の方々、事務部の方々に、ご理解と一層のご支援をいただけると期待しておりますので、よろしくお願いいたします。

末筆になりましたが、技術室報告第19号の取りまとめに当たってご協力いただいた皆さんの労に深く感謝いたします。